



# 新 牛久ごみ ニュース

## 「ごみを減らすためには③」 混在資源物も減らそう

ごみの削減には、何よりも一人ひとりが環境に関心を持つことが必要です。これまでライフスタイルの見直しや食品残さ(台所から出る生ごみなど)を出さないための工夫などをお知らせしてきましたが、今回はごみの中にある混在資源物(※)についてお知らせします。

計1億1000万円の経費を削減することができます。

### ☆混ぜればごみ、分ければ資源

いらないなくなったものを分別しないで捨ててしまえばごみとなってしまいますが、きちんと分別することで資源として再利用することができず。家庭でごみ袋に入れる前に、『混ぜればごみ、分ければ資源』を思い浮かべ行動してください。

分別による混在資源物の削減にご協力をお願いします。ごみや資源の分別で不明な点がありましたら、市廃棄物対策課までお問い合わせください。

### ☆燃えるごみ中の混在資源物は約17%

ごみを削減する上で、生ごみは重要なポイントとなりますが、ごみの中に混在している資源物をいかに減らすかも重要となります。

### ☆ごみをきちんと分別することで!

ごみを削減するには、まずごみとなるものを家に持ち込まない(リデュース)、使えるものは修理して使うこと(リユース)が大切です。しかし、どうしてもごみが出てしまう場合は、ごみと資源物を分別し資源として再利用すること(リサイクル)です。きちんと分別をすると次のような良いことがあります。

#### ① 二酸化炭素排出量の削減

地球温暖化の原因は二酸化炭素などの大量排出ですが、私たちが生活する上でごみもその要因の一つです。排出されるごみを削減し、ごみ処理工程で使用される燃料や電気、ガスなどのエネルギー使用量を減らす必要があります。排出されるごみと資源を分別しましょう。また、分別することで資源としての再利用も促進されます。

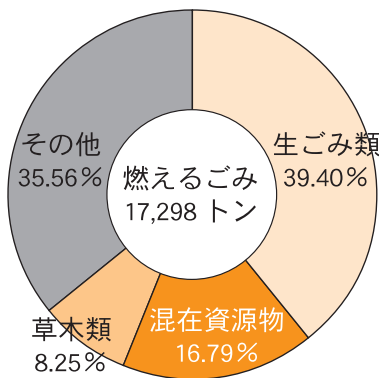
昨年の組成分析(下グラフ参照)によると、家庭から排出された燃えるごみの中には、紙類や缶、ペットボトルなどの資源物が約2900トン(重量比約17%)も含まれていました。中でも新聞紙、雑誌、お菓子の箱や包装紙などの紙類は約2800トンを占め、混在資源物の97%を占めています。

#### ② ごみ処理経費1億1000万円を節減

平成19年度のごみ処理経費は約10億8400万円であり、ごみ1トン当たりの処理経費は約3万6800円となります。ごみと資源を分別することで、ごみ処理経費が約8700万円節減し、分別された資源物を売却することにより約2300万円の収入が見込まれ、合

### 燃えるごみの内訳

(平成19年度調査)



※混在資源物: 本来資源物として出すべきものが、燃えるごみ・燃えないごみに混入している資源物。

### 《お知らせ》

8月に燃えないごみを回収中の車両で火災が発生しました。この火災は積み込み時の圧縮により漏れ出した可燃性ガス(スプレー缶やライターなどに使われている)に火花が引火したことによるものです。今回は大事故には至りませんでした。今回は、運転員や通行者に被害を及ぼすことも想定されます。スプレー缶やライターなど、容器内に可燃性ガスが充てんされているものは、必ず使い切ってから出してください。